

## <付箋への書き込み・整理による、児童の考えの形成と対話>

国語科・小学校5年・物語文「たずねびと」(光村図書)

ねらい：文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。

### 活用による効果

- 教科書本文や挿絵を抜き出して貼り付けることができる機能を活用することで、ノートに書き写す作業時間が削減できる。また、書くことに苦手意識がある児童も、抜き出した文章(短冊)をまとまりごとに整理して、それを基に自分の考えを付箋に書いてまとめることができる。



機能：書き込み、保存・表示、付箋

### 学習活動例

### ★学習者用デジタル教科書活用場面

	活動内容	活用ポイント/留意点	
導入	<b>一斉</b> 前時の振り返り	1 前時の振り返り ・前時で学習した、主人公の心情について想起する。	・学習者用デジタル教科書の「ワーク」を大型モニタで提示しながら前時の学習を確認し、本時の学習に見通しがもてるようにする。
	<b>一斉</b> 課題の確認	2 課題の確認	
展開	課題：「きれいな川」は、主人公にとって、どんなもの変わったのだろうか。		
	<b>個別</b> 表現の抜き出し 自分の考えをもつ	3 考えの根拠となる文章を抜き出し、整理する ★課題に対する自分の考えの根拠となる文章を抜き出して短冊を作る。 ★内容のまとまりごとに短冊の色をそろえる。 ★自分の考えと関連する挿絵も黒板エリアに貼り付ける。 ★抜き出した文章(短冊)を基に、主人公の心情の変化についての自分の考えを付箋に書く。	・本文をノートへ書き写す時間が削減されるため、児童が主人公の心情について考えを形成する時間を十分に確保できる。 ・考えの根拠の一つとなる挿絵も活用することができる。 ・付箋機能を活用して、自分の考えを複数記述する。 ・考えをまとめる際に、マーカーでメモ書きができる。 ・付箋を整理することにより、自分の考えを順序立ててまとめることができる。
	<b>ペア</b> <b>個別</b> 考えの交流	4 考えたことを伝え合い、自分の考えを見直す ★自分の画面を友達に提示しながら、考えを説明する。 ★友達からの質問や助言を基に自分の考えを見直し、新しく付箋を作成し自分の考えを書く。	・画面を提示しながらペアで説明することで、視覚的にも理解しやすくなり、主人公の心情の変化について充実した対話ができる。 ・新たに作成した付箋は、今まで使用した色と変えるように指示する。
開	<b>一斉</b> 考えの発表	5 ペアでの話し合いを基に見直した自分の考えを大型提示装置に提示しながら、主人公の心情の変化を発表する	・発表する児童のタブレット画面を大型提示装置で投影するとともに、自分の考えを発表するように促す。
まとめ	<b>個別</b> 振り返り	6 本時の学習を振り返る ・主人公の心情の変化について考えたことをワークシートに書く。	・主人公の心情の変化を自分の気持ちを重ねて振り返るように促す。